

# なかがわ

広報

2014. 12



町のイメージキャラクター  
「なかちゃん」



No.111

- 第33回ゆりがねマラソン大会 2
- 広重紅葉まつり・文化祭 3
- 町政懇談会 6
- 償却資産を所有する事業主の皆さんへ 8
- 那珂川町職員募集のお知らせ 9
- 冬の感染症予防 13



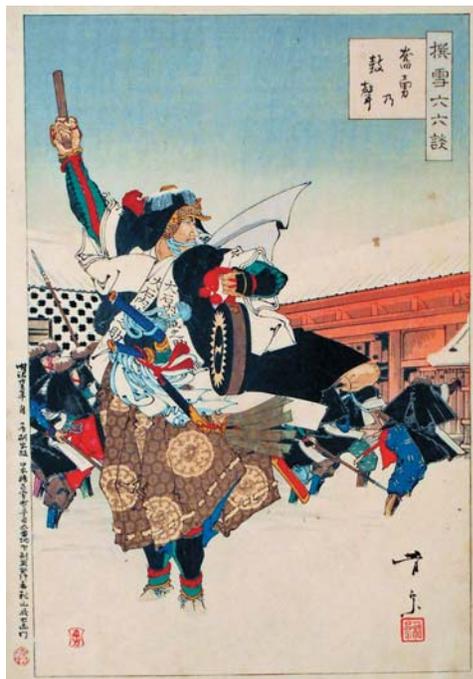
第33回  
ゆりがねマラソン大会

# 広報 展示室

第111回

戦国時代が終わり天下太平の世の中を謳歌していた江戸時代に大事件が起きました。元禄14年3月14日(1701年)、江戸城内松之大廊下で赤穂藩藩主・浅野長矩(内匠頭)が吉良義典上野介に刃傷沙汰に及んだことが発端です。この事件で將軍の徳川綱吉は激怒しました。浅野は刀を抜き吉良を2回切りつけ、その内一度は吉良の眉間に一太刀浴びせました。浅野内匠頭は殿中抜刀の罪で即日切腹、赤穂藩は取り潰しとなりましたが、被害者とされた吉良はお咎めなしでした。その結果を不服とする赤穂藩の藩士たちは浪人となり主君の仇の吉良上野介を付け狙い、元禄15年12月14日(1702年)未明に本所・吉良邸へ討ち入りし、主君の仇を討ち本懐を遂げました。武士の鑑と周囲からは賞賛されましたが、幕府の決定に従わず討ち入りに参加した赤穂の浪士47人の内46人は切腹となりました。この事件は庶民の判官贔屓の気持ちを煽り、元禄16年1月に仇討ちを題材とした『傾城阿佐間曾我』が江戸の山村座で上演され、続いて『鬼鹿毛無佐志鑑』『暮磐太平記』『忠臣金短冊』など様々な形で上演されましたが、それらをまとめたのが寛延元年(1748年)8月に大坂の竹本座で上演された人形浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』です。同年中に同じ演題で歌舞伎でも上演され人気を博しました。劇場にお客が不入りの時は『仮名手本忠臣蔵』を上演すると忽ち満員御礼になったところから独参湯とも呼ばれ、人形浄瑠璃、歌舞伎、講談、落語などでも演じられました。今日でもドラマや映画などで繰り返し上演されています。

## 企画展「忠臣蔵の世界展」— 撰雪六六談 奮勇の鼓聲 —



「撰雪六六談 奮勇の鼓聲」 二代目歌川芳宗

当然、浮世絵にも様々な役者が演じた『忠臣蔵』が描かれています。本展では江戸庶民に親しまれていた『忠臣蔵』の各場面を様々な絵師が各時代にどの場面をクローズアップして取り上げたか解るように展示しています。

馬頭広重美術館長 市川 信也

【会 期】～平成27年1月18日(日)まで  
【開館時間】午前9時30分より午後5時まで  
(但し入館は午後4時30分まで)

### 【入館料】

大人 500円(450円)  
高・大学生 300円(270円)

※( )は20名以上の団体料金。

※中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

## 馬頭ウィングスポーツ少年団準優勝パレード

馬頭ウィングスポーツ少年団が第28回栃木県小学生女子ソフトボール新人大会において準優勝し、11月8日に祝賀パレードと準優勝報告会が行われました。南町方面から役場本庁舎に向かって大通り沿いにパレードを行い、馬頭ウィングの皆さんは大勢の方から大きな声援を受けていました。

なお、馬頭ウィングスポーツ少年団は平成27年3月28日から三重県で開催される第8回春季全日本小学生ソフトボール大会へ出場されます。

